

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「インベスコ プレミア・プラス・ファンド」は、2023年11月20日に第18期の決算を行いました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

*当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	無期限	
運用方針	<ul style="list-style-type: none">投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界各国の債券、株式、資源資産（コモディティ）を実質的な投資対象とし、投資信託財産の成長を図ることを目標として運用を行います。債券、株式、資源資産3資産の配分については、市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して決定します。また、短期的な市場変化に機動的に対応した運用を行います。実質外貨建資産については、実質的に為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。	
主要運用対象	インベスコ プレミア・ プラス・ファンド	「インベスコ バランスト・リスク・アロケーション マザーファンド」および「インベスコ マネーボール・ファンド（適格機関投資家私募投信）」を主要投資対象とします。
	インベスコ バランスト・リスク・ アロケーション マザーファンド	別に定める投資信託証券※への投資を通じて、日本を含む世界各国の債券、株式、コモディティに実質的に投資します。 ※別に定める投資信託証券とは、ルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・バランスト・リスク・アロケーション・ファンドクラスC-Accumulation投資信託証券（円ヘッジ付）です。
	インベスコ マネーボール・ファンド （適格機関投資家私募投信）	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資します。
組入制限	<ul style="list-style-type: none">投資信託証券（マザーファンド受益証券を含みます。）への投資割合には制限を設けません。株式への直接投資は行いません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。デリバティブ取引の直接利用は行いません。	
分配方針	原則として年2回の毎決算時（5・11月の各20日、該当日が休業日の場合は翌営業日）に委託会社が、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。	

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
お問い合わせダイヤル

電話番号：(03) 6447-3100

受付時間：毎営業日の午前9時～午後5時



インベスコ プレミア・プラス・ファンド

愛称：真分散革命

追加型投信／内外／資産複合



運用報告書（全体版）

第18期
（決算日 2023年11月20日）

インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<https://www.invesco.com/jp/ja/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	騰落		投資信託 組入比率	純資産額	
		税金	み期騰落			中率
	円		円	%	百万円	
14期(2021年11月22日)	12,857		0	4.8	98.0	3,017
15期(2022年5月20日)	11,750		0	△8.6	99.0	3,358
16期(2022年11月21日)	10,794		0	△8.1	99.1	3,377
17期(2023年5月22日)	10,378		0	△3.9	100.0	3,199
18期(2023年11月20日)	10,102		0	△2.7	97.3	2,726

(注) 基準価額は1万円当たりです。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れていますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しています。

(注) 当ファンドは債券、株式、資源資産(コモディティ)を実質的な投資対象とし、市場環境や価格変動の大きさなどを考慮した資産配分を行うため、適切なベンチマークまたは参考指数が存在しません。このためベンチマークまたは参考指数を掲載していません。以下同じです。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		投資信託 組入比率
		騰落	率	
(期首) 2023年5月22日	円 10,378		% -	% 100.0
5月末	10,301		△0.7	98.6
6月末	10,326		△0.5	98.6
7月末	10,535		1.5	100.0
8月末	10,369		△0.1	99.0
9月末	10,110		△2.6	100.1
10月末	9,850		△5.1	98.5
(期末) 2023年11月20日	円 10,102		% △2.7	% 97.3

(注) 基準価額は1万円当たりです。

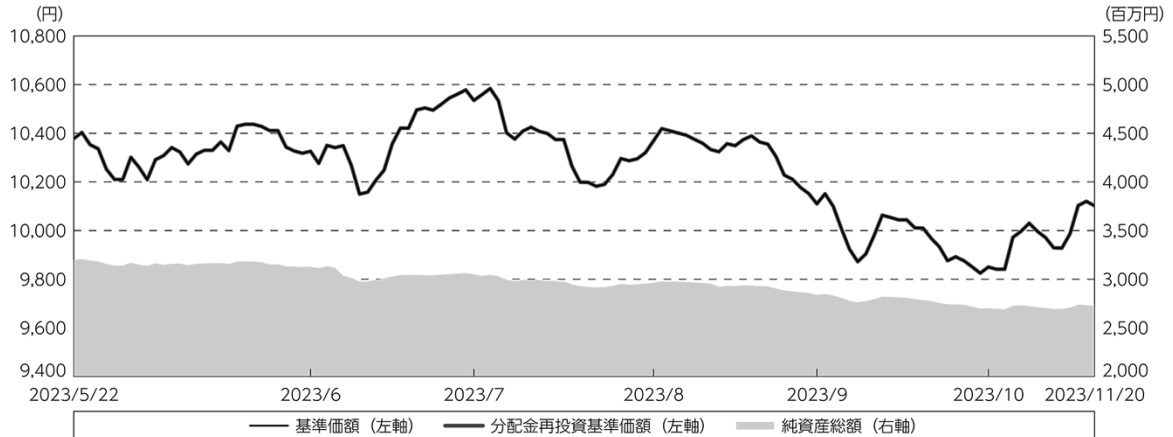
(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れていますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しています。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2023年5月23日～2023年11月20日)



期首：10,378円

期末：10,102円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 2.7% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2023年5月22日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

[上昇要因]

- ・日本を含む世界各国の債券、株式、資源資産(コモディティ)を実質的な投資対象としているため、日本や米国の株式市場の上昇や、貴金属などのコモディティの価格上昇が、基準価額の上昇要因となりました。
- ・市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して債券、株式、コモディティの配分を決定した結果、株式市場が上昇する環境下、期を通じて株式の資産配分を多め(オーバーウェイト)としたこと、各国の長期金利が上昇(債券価格は下落)する環境下、日本を除く債券の資産配分を少なめ(アンダーウェイト)としたことが、基準価額の上昇要因となりました。

[下落要因]

- ・日本を含む世界各国の債券、株式、コモディティを実質的な投資対象としているため、すべての投資対象市場の長期金利の上昇や、エネルギーや工業金属などのコモディティの価格下落などが、基準価額の下落要因となりました。
- ・市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して債券、株式、コモディティの配分を決定した結果、エネルギー価格が下落する環境下、期を通じてエネルギーをオーバーウェイトとしたことや貴金属が上昇する環境下、期を通じて貴金属をアンダーウェイトとしたことが、基準価額の下落要因となりました。

投資環境

《債券市場》

米国30年国債利回り	4.57% (前期末 3.97%)	英国10年国債利回り	4.13% (同 4.06%)
ドイツ10年国債利回り	2.61% (同 2.46%)	日本10年国債利回り	0.75% (同 0.39%)

※上記は当期末の数値です。

当期の世界の債券市場は、長期金利が上昇しました。インフレ率の高まりなどにより期初から計5回の利上げを米連邦準備理事会（F R B）が実施したことや欧州中央銀行（E C B）が期初から計7回の利上げを行ったことなどから、各国の国債利回りは上昇しました。

《株式市場》

S&P500 指数（米国）	+8.5%	FTSE100 指数（英国）	△3.5%
DAX 指数（ドイツ）	△2.0%	CAC40 指数（フランス）	△3.1%
TOPIX（東証株価指数）（日本）	+9.0%		

※株価指数の騰落率は当期末時点（対前期末比）の数値です。

当期の世界の株式市場は日本と米国を中心に上昇しました。2023年の前半に米国での地方銀行の破綻や債務上限を巡る懸念により一時的に不安定に株価が推移する局面があったものの、企業業績が堅調なことや景況感指数が強いことなどから、株価は上昇しました。

《資源資産市場》

エネルギー（W T I 原油）	+15.9%	工業金属（銅）	+4.7%
貴金属（金）	△0.1%	農産物（R I C I）	+6.0%

※騰落率は当期末時点（対前期末比）の数値です。代表的な E T C の価格を用いて計算しています。

当期の資源資産市場は、貴金属が上昇し、エネルギー、工業金属、農産物が下落しました。エネルギーは、期の前半にかけて原油の在庫増やロシアが減産に否定的な見方を示したことなどから、

原油価格は下落しました。工業金属は、中国での不動産市況の悪化や景気減速懸念の高まりを受けて、銅価格は下落しました。農産物は、欧州やインド、米国などで豊作による穀物の供給増から、主要な農産物が下落しました。貴金属は、パレスチナ問題を巡る地政学リスクの高まりを受けて、金価格は上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

インベスコ バランスト・リスク・アロケーション マザーファンド（以下、マザーファンドといいます。）を高位に組み入れ、日本を含む世界各国の債券、株式、資源資産に実質的に投資し、さまざまな経済局面において安定したリターンの獲得をめざしました。残余部分はインベスコ マネープール・ファンド（適格機関投資家私募投信）（以下、マネープール・ファンドといいます。）を組み入れ、安定した収益の確保を図りました。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・バランスト・リスク・アロケーション・ファンド クラスC-Accumulation投資信託証券（円ヘッジ付）に投資を行いました。同外国投資信託では、債券、株式、資源資産の資産配分については、市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して決定しました。また、短期的な市場変化に機動的に対応した運用を行いました。債券、株式への投資は当該資産への直接投資や上場投資信託証券（以下、「ETF」といいます。）への投資の他、デリバティブ取引を活用しました。また、資源資産への投資はETF、指数連動債などへの投資の他、デリバティブ取引を活用しました。

市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して各資産クラスにてロング・ポジションを形成するとともに、短期的な市場変化に機動的に対応するため、独自のモデルによって、以下のような資産配分を行いました。

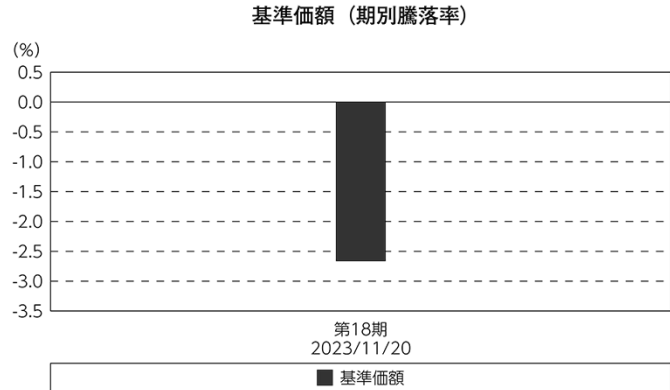
- ・株式は、新興国と米国をアンダーウェイトとし、他の投資対象国はオーバーウェイトを維持しました。
- ・債券は、英国、ドイツ、米国はアンダーウェイトを維持しました。豪州とカナダは期の前半はアンダーウェイトとしましたが、豪州は2023年4月から6月、カナダは5月にかけて一時オーバーウェイトとし、その後再びアンダーウェイトとしました。
- ・資源資産は、エネルギーは、6月と7月を除きオーバーウェイトとしました。貴金属は、アンダーウェイトを継続しました。工業金属は期の前半はアンダーウェイトとしましたが、8月から10月にかけてはオーバーウェイトとしました。農産物は、期初はオーバーウェイトとしましたが、2023年3月以降はアンダーウェイトとしました。

マネープール・ファンドでは、資産規模などを勘案し、短期金融商品による運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

右記のグラフは、当期の基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向および残存信託期間などを勘案し、当期は見送りとさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第18期
	2023年5月23日～ 2023年11月20日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,790

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

マザーファンドを高位に組み入れ、日本を含む世界各国の債券、株式、資源資産に実質的に投資し、さまざまな経済局面において安定したリターンの獲得をめざします。残余部分はマネープール・ファンドを組み入れ、安定した収益の確保を図ります。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・バランスト・リスク・アロケーション・ファンド クラスC-Accumulation投資信託証券(円ヘッジ付)に投資を行います。同外国投資信託では、債券、株式、資源資産の配分については、市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して決定します。また、短期的な市場変化に機動的に対応した資産配分も行います。前記の方針に基づき、毎月月初時点での投資判断をもとにリバランスを行いながら、今後も規律あるプロセスに従った運用を行っていきます。なお、株式、債券、ETF、コモディティ指数連動債などへの投資に加え、デリバティブ取引を活用します。

マネープール・ファンドでは、円貨建ての短期公社債および短期金融商品を中心に運用を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年 5 月 23 日～2023年11月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	48	0.470	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(4)	(0.044)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(42)	(0.410)	購入後の情報提供、運用報告書等各种資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	5	0.046	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.013)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	(3)	(0.033)	印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する費用
合 計	53	0.516	
期中の平均基準価額は、10,248円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

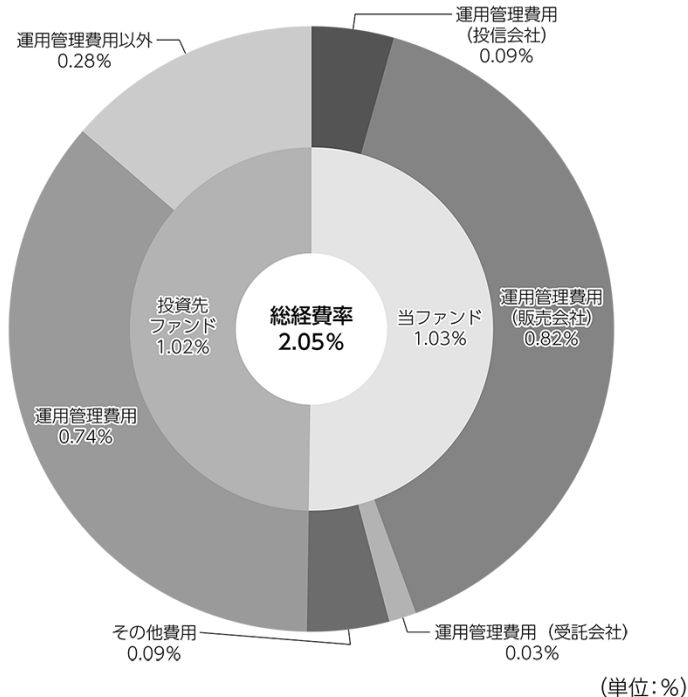
(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.05%です。



総経費率(①+②+③)	2.05
①当ファンドの費用の比率	1.03
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.74
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.28

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、親投資信託を通じて当ファンドが組み入れている投資信託証券および当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年5月23日～2023年11月20日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
インベスコ バランスト・リスク・アロケーション マザーファンド	千口 69,669	千円 78,215	千口 433,641	千円 487,189

(注) 単位未満は切捨てています。

○利害関係人との取引状況等

(2023年5月23日～2023年11月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年11月20日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
インベスコ マネーパブル・ファンド (適格機関投資家私募投信)	千口 1,499	千口 1,499	千円 1,488	% 0.1
合 計	1,499	1,499	1,488	0.1

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てています。

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
インベスコ バランスト・リスク・アロケーション マザーファンド	千口 2,834,747	千口 2,470,775	千円 2,742,066

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てています。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2023年11月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 1,488	% 0.1
インベスコ バランス・リスク・アロケーション マザーファンド	2,742,066	99.5
コール・ローン等、その他	11,240	0.4
投資信託財産総額	2,754,794	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨てています。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年11月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,754,794,515
投資信託受益証券(評価額)	1,488,355
インベスコ バランス・リスクリザーション マザーファンド(評価額)	2,742,066,472
未収入金	11,239,688
(B) 負債	28,725,206
未払解約金	13,436,547
未払信託報酬	13,910,365
その他未払費用	1,378,294
(C) 純資産総額(A－B)	2,726,069,309
元本	2,698,601,469
次期繰越損益金	27,467,840
(D) 受益権総口数	2,698,601,469口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,102円

<注記事項> (当運用報告書作成時点では監査未了です。)

(貸借対照表関係)

期首元本額	3,083,342,620円
期中追加設定元本額	76,264,678円
期中一部解約元本額	461,005,829円

○損益の状況 (2023年5月23日～2023年11月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	△ 58,326,836
売買益	6,049,576
売買損	△ 64,376,412
(B) 信託報酬等	△ 15,288,659
(C) 当期損益金(A+B)	△ 73,615,495
(D) 前期繰越損益金	△318,823,750
(E) 追加信託差損益金	419,907,085
(配当等相当額)	(526,058,951)
(売買損益相当額)	(△106,151,866)
(F) 計(C+D+E)	27,467,840
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	27,467,840
追加信託差損益金	419,907,085
(配当等相当額)	(526,058,884)
(売買損益相当額)	(△106,151,799)
分配準備積立金	226,965,259
繰越損益金	△619,404,504

(注) (A) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金の計算過程は以下の通りです。
 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(526,058,884円)および分配準備積立金(226,965,259円)より分配対象収益は753,024,143円(1万口当たり2,790円)となりましたが、基準価額水準、市況動向等を勘案し、当期の分配を見合わせました。

○分配金のお知らせ

当期の収益分配は見送らせていただきました。

運用報告書

第9期

決算日 2023年11月20日

(計算期間：2022年11月22日から2023年11月20日まで)

運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・主として、別に定める投資信託証券への投資を通じて、実質的に日本を含む世界各国の債券、株式、コモディティに投資します。なお、別に定める投資信託証券においては、債券、株式への投資は、当該資産への直接投資の他、先物取引、オプション取引などのデリバティブ取引を活用します。また、コモディティへの投資は、上場投資証券、指数連動債などへの投資の他、デリバティブ取引を活用します。 ・別に定める投資信託証券への投資を通じて、債券、株式、コモディティ3資産の配分については、市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して決定します。また短期的な市場変化に機動的に対応した運用を行います。 ・投資信託証券への投資割合は、原則として、高位に保ちます。 ・別に定める投資信託証券において、その運用方針として対円で為替ヘッジを行うことを掲げている場合は、原則として為替ヘッジを行いません。別に定める投資信託証券において、為替変動の影響を受ける実質組入外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行います。 ・投資対象とする投資信託証券は、委託者の判断により変更することがあります。
主要運用対象	<p>別に定める投資信託証券※</p> <p>※別に定める投資信託証券とは、ルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・バランススト・リスク・アロケーション・ファンド クラスC-Accumulation投資信託証券（円ヘッジ付）です。</p>
組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・デリバティブ取引の直接利用は行いません。

インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<https://www.invesco.com/jp/ja/>

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		投 資 信 託 券 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率		
	円		%	%	百万円
5期(2019年11月20日)	11,515		8.6	96.5	1,362
6期(2020年11月20日)	12,023		4.4	97.0	1,762
7期(2021年11月22日)	13,848		15.2	97.4	3,034
8期(2022年11月21日)	11,736		△15.3	98.5	3,393
9期(2023年11月20日)	11,098		△5.4	96.7	2,742

(注) 基準価額は1万円当たりです。

(注) 当ファンドは債券、株式、資源資産（コモディティ）を実質的な投資対象とし、市場環境や価格変動の大きさなどを考慮した資産配分を行うため、適切なベンチマークまたは参考指数が存在しません。このためベンチマークまたは参考指数を掲載していません。以下同じです。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 券 率
		騰 落	率	
(期 首)	円		%	%
2022年11月21日	11,736		—	98.5
11月末	11,772		0.3	98.7
12月末	11,410		△2.8	98.2
2023年1月末	11,798		0.5	98.8
2月末	11,389		△3.0	98.8
3月末	11,480		△2.2	98.9
4月末	11,434		△2.6	99.1
5月末	11,262		△4.0	98.6
6月末	11,299		△3.7	98.5
7月末	11,536		△1.7	99.7
8月末	11,365		△3.2	98.5
9月末	11,091		△5.5	99.4
10月末	10,817		△7.8	97.9
(期 末)				
2023年11月20日	11,098		△5.4	96.7

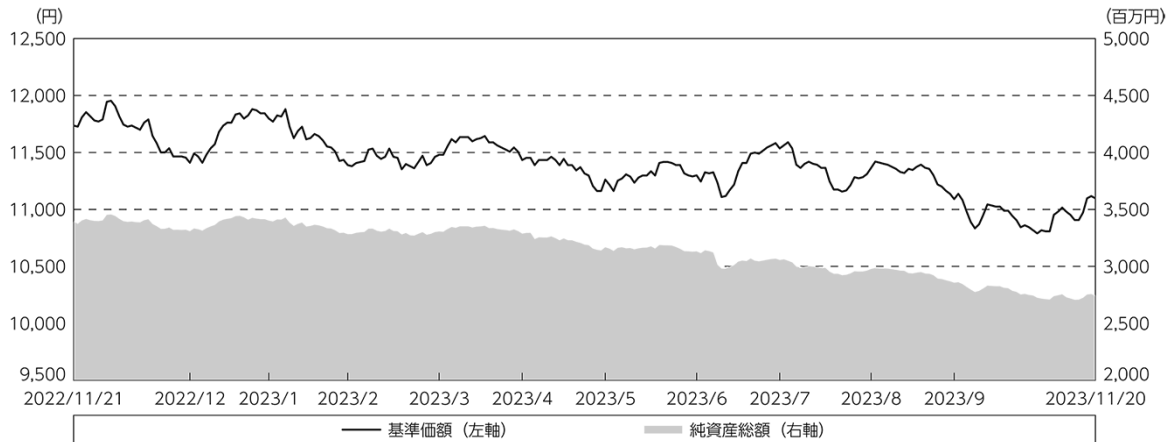
(注) 基準価額は1万円当たりです。

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2022年11月22日～2023年11月20日)



期首：11,736円
 期末：11,098円
 騰落率：△ 5.4%

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

[上昇要因]

- ・日本を含む世界各国の債券、株式、資源資産（コモディティ）を実質的な投資対象としているため、日本や米国の株式市場の上昇や、貴金属などのコモディティの価格上昇が基準価額の上昇要因となりました。
- ・市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して債券、株式、コモディティの配分を決定した結果、株式市場が上昇する環境下、期を通じて株式の資産配分を多め（オーバーウェイト）としたこと、各国の長期金利が上昇（債券価格は下落）する環境下、日本を除く債券の資産配分を少なめ（アンダーウェイト）としたことが、基準価額の上昇要因となりました。

[下落要因]

- ・日本を含む世界各国の債券、株式、コモディティを実質的な投資対象としているため、すべての投資対象市場の長期金利の上昇や、エネルギーや工業金属などのコモディティの価格下落などが、基準価額の下落要因となりました。
- ・市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して債券、株式、コモディティの配分を決定した結果、エネルギー価格が下落する環境下、期を通じてエネルギーをオーバーウェイトとしたことや貴金属が上昇する環境下、期を通じて貴金属をアンダーウェイトとしたことが、基準価額の下落要因となりました。

投資環境

《債券市場》

米国30年国債利回り	4.57% (前期末 3.83%)	英国10年国債利回り	4.13% (同 3.19%)
ドイツ10年国債利回り	2.61% (同 1.99%)	日本10年国債利回り	0.75% (同 0.25%)

※上記は当期末の数値です。

当期の世界の債券市場は、長期金利が上昇しました。インフレ率の高まりなどにより期初から計5回の利上げを米連邦準備理事会（F R B）が実施したことや欧州中央銀行（E C B）が期初から計7回の利上げを行ったことなどから、各国の国債利回りは上昇しました。

《株式市場》

S&P500指数（米国）	+15.1%	FTSE100指数（英国）	+1.6%
DAX指数（ドイツ）	+10.6%	CAC40指数（フランス）	+9.2%
TOPIX（東証株価指数）（日本）	+20.3%		

※株価指数の騰落率は当期末時点（対前期末比）の数値です。

当期の世界の株式市場は日本と米国を中心に上昇しました。2023年の前半に米国での地方銀行の破綻や債務上限を巡る懸念により一時的に不安定に株価が推移する局面があったものの、企業業績が堅調なことや景況感指数が強いことなどから、株価は上昇しました。

《資源資産市場》

エネルギー（WT I 原油）	前期末比+9.3%	工業金属（銅）	+10.1%
貴金属（金）	+13.1%	農産物（R I C I）	+6.2%

※騰落率は当期末時点（対前期末比）の数値です。代表的なE T Cの価格を用いて計算しています。

当期の資源資産市場は、貴金属が上昇し、エネルギー、工業金属、農産物が下落しました。エネルギーは、期の前半にかけて原油の在庫増やロシアが減産に否定的な見方を示したことなどから、原油価格は下落しました。工業金属は、中国での不動産市況の悪化や景気減速懸念の高まりを受けて、銅価格は下落しました。農産物は、欧州やインド、米国などで豊作による穀物の供給増から、主要な農産物が下落しました。貴金属は、パレスチナ問題を巡る地政学リスクの高まりを受けて、金価格は上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

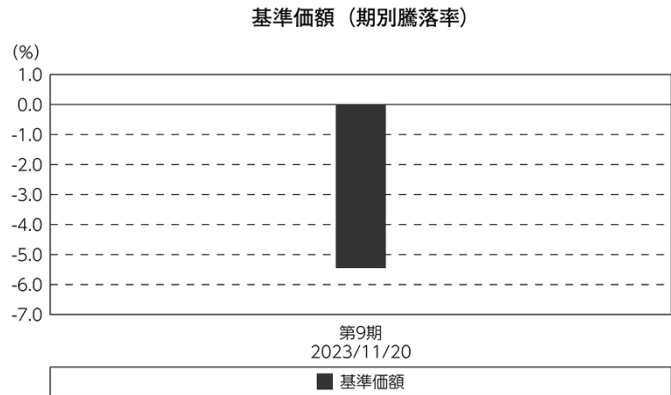
主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・バランスト・リスク・アロケーション・ファンド クラスC-Accumulation投資信託証券（円ヘッジ付）に投資を行いました。同外国投資信託では、債券、株式、資源資産の資産配分については、市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して決定しました。また、短期的な市場変化に機動的に対応した運用を行うため、独自のモデルによって、以下のような資産配分を行いました。

- ・株式は、新興国と米国をアンダーウェイトとし、他の投資対象国はオーバーウェイトを維持しました。
- ・債券は、英国、ドイツ、米国はアンダーウェイトを維持しました。豪州とカナダは期の前半はアンダーウェイトとしましたが、豪州は2023年4月から6月、カナダは5月にかけて一時オーバーウェイトとし、その後再びアンダーウェイトとしました。
- ・資源資産は、エネルギーは、6月と7月を除きオーバーウェイトとしました。貴金属は、アンダーウェイトを継続しました。工業金属は期の前半はアンダーウェイトとしましたが、8月から10月にかけてはオーバーウェイトとしました。農産物は、期初はオーバーウェイトとしていましたが、2023年3月以降はアンダーウェイトとしました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

右記のグラフは、当期の基準価額騰落率です。



○今後の運用方針

主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・バランスト・リスク・アロケーション・ファンド クラスC-Accumulation投資信託証券(円ヘッジ付)に投資を行います。同外国投資信託では、債券、株式、資源資産の配分については、市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して決定します。また、短期的な市場変化に機動的に対応した資産配分も行います。前記の方針に基づき、毎月月初時点での投資判断をもとにリバランスを行いながら、今後も規律あるプロセスに従った運用を行っていきます。なお、株式、債券、コモディティ上場投資証券、コモディティ指数連動債などへの投資に加え、デリバティブ取引を活用します。

○当ファンドのデータ

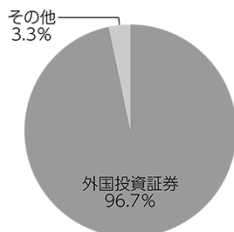
(2023年11月20日現在)

【組入上位ファンド】

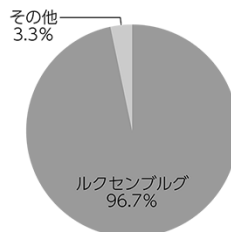
銘柄名	第9期末
インベスコ・バランスト・リスク・アロケーション・ファンド クラスC-Accumulation	96.7%
組入銘柄数	1銘柄

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

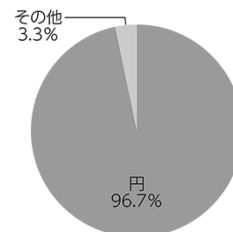
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍（所在国）などを表示しております。

(注) その他には現金等を含む場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2022年11月22日～2023年11月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理に要する費用
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、11,387円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2022年11月22日～2023年11月20日)

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	インベスコ・バランス・リスク・アロケーション・ファンド クラスC-Accumulation	千口 —	千円 —	千口 423	千円 517,000

(注) 金額は受渡代金。

(注) 単位未満は切捨てています。

○利害関係人との取引状況等

(2022年11月22日～2023年11月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年11月20日現在)

国内投資信託証券

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
	千口	千口	千円	%
インベスコ・バランスト・リスク・アロケーション・ファンド クラスC-Accumulation	2,620	2,197	2,650,489	96.7
合 計	口 数 ・ 金 額	2,620	2,197	2,650,489
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	1	< 96.7% >

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てています。

○投資信託財産の構成

(2023年11月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資証券	2,650,489	96.3
コール・ローン等、その他	102,892	3.7
投資信託財産総額	2,753,381	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てています。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年11月20日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	2,753,381,141	
コール・ローン等	22,892,076	
投資証券(評価額)	2,650,489,065	
未収入金	80,000,000	
(B) 負債	11,239,886	
未払解約金	11,239,688	
未払利息	62	
その他未払費用	136	
(C) 純資産総額(A-B)	2,742,141,255	
元本	2,470,775,340	
次期繰越損益金	271,365,915	
(D) 受益権総口数	2,470,775,340口	
1万口当たり基準価額(C/D)	11,098円	

<注記事項>

(貸借対照表関係)

1. 期首元本額	2,891,594,548円
期中追加設定元本額	168,443,626円
期中一部解約元本額	589,262,834円
2. 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額	
インベスコ プレミア・プラス・ファンド	2,470,775,340円
合計	2,470,775,340円

○損益の状況 (2022年11月22日～2023年11月20日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	△ 39,874	
支払利息	△ 39,874	
(B) 有価証券売買損益	△176,620,115	
売買損	△176,620,115	
(C) 保管費用等	△ 1,521	
(D) 当期損益金(A+B+C)	△176,661,510	
(E) 前期繰越損益金	501,881,085	
(F) 追加信託差損益金	24,377,319	
(G) 解約差損益金	△ 78,230,979	
(H) 計(D+E+F+G)	271,365,915	
次期繰越損益金(H)	271,365,915	

(注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 保管費用等は、外貨建資産の保管に係る費用等です。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(参考情報)

ルクセンブルグ籍外国投資法人 インベスコ・バランスド・リスク・アロケーション・ファンド

「インベスコ バランスド・リスク・アロケーション マザーファンド」が主要投資対象として
いる「インベスコ・バランスド・リスク・アロケーション・ファンド」の直近の情報は以下の通
りです。

当ファンドは、「インベスコ バランスド・リスク・アロケーション マザーファンド」が投資
対象とするルクセンブルグ籍外国投資法人が発行するクラスC-Accumulation投資信託証券（円ヘ
ッジ付）です。

○ファンドの仕組み

形 態	ルクセンブルグ籍外国投資法人
投 資 対 象	債券、株式、コモディティの3資産に投資します。
運 用 方 針	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な金融市場と低中相関で、中長期的にトータル・リターンを得ることを目標とします。 ・3資産への投資に当たっては、景気減速期、経済成長期、インフレ期といった経済環境において異なる値動きをする資産間で、戦略的配分および戦術的配分を行います。 ・原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。
管 理 会 社	インベスコ・マネジメント・エス・エイ
投資顧問会社	インベスコ・アドバイザーズ・インク
決 算 日	毎年2月末
分 配 方 針	分配は行いません。

インベスコ・バランスト・リスク・アロケーション・ファンドは、現地の法律に基づいて財務諸表が作成され、公認会計士により財務書類の監査を受けております。以下に掲載している情報は、2023年2月28日現在のFINANCIAL STATEMENTSから抜粋しております。

○損益計算書及び純資産額変動計算書

(2023年2月28日に終了した年度)
(単位：ユーロ)

収益	
受取利息（債券）	1,642,175
マーケットディスカウントの増価／（マーケットプレミアムの償却）	(4,167,583)
預金利息	971,521
スワップに係る純受取利息	554,582
証券貸付利息	225,235
その他収益	124,753
	<u>(649,317)</u>
費用	
運用及び投資顧問会社報酬	17,866,860
サービス代行報酬	3,697,483
保管報酬	147,711
税金	773,689
事務代行費用	175,046
スワップに係る支払純利息	8,348,813
その他運営費用	71,137
運営費用上限超過額	(2,758)
その他支払利息	23,416
	<u>31,101,397</u>
当期投資純利益／（損失）	<u>(31,750,714)</u>
受益証券発行／（買戻）による純収益／（支払）金	(126,578,239)
投資有価証券、デリバティブ及び外国通貨の処分に係る実現純利益／（損失）	(153,417,476)
為替先物予約に係る未実現評価益／損の純変動額	(3,974,154)
先物契約に係る未実現評価益／損の純変動額	29,614,696
コモディティ・スワップに係る未実現評価益／損の純変動額	(753,057)
トータル・リターン・スワップに係る未実現評価益／損の純変動額	4,956,522
オプション／スワプションに係る未実現評価益／損の純変動額	(14,998,699)
投資有価証券に係る未実現評価益／損の純変動額	(57,290,974)
外国通貨及びその他取引に係る未実現評価益／損の純変動額	(1,305,919)
期首純資産額	<u>1,841,738,991</u>
期末純資産額	<u>1,486,240,977</u>

○投資有価証券明細表

(2023年2月28日現在)			
銘柄	額面/株数	時価 (ユーロ)	純資産に占める 割合 (%)
公的な証券取引所に上場を認められているまたは他の規制市場で取引されている譲渡性のある有価証券			
債券			
カナダ			
Canadian Imperial Bank of Commerce FRN 0% USD 26/12/2023	62,000,000	61,153,023	4.12
Royal Bank of Canada/Toronto 0% USD 26/12/2023	49,200,000	48,503,412	3.26
Royal Bank of Canada/Toronto 0% USD 28/03/2024	31,500,000	29,183,053	1.96
		138,839,488	9.34
ドイツ			
Bundesobligation 0% EUR 13/10/2023	110,000,000	107,937,500	7.26
Bundesrepublik Deutschland Bundesanleihe 2% EUR 15/08/2023	50,000,000	49,780,000	3.35
Bundesschatzanweisungen 0% EUR 16/06/2023	65,000,000	64,469,600	4.34
German Treasury Bill 0% EUR 22/03/2023	50,000,000	49,937,000	3.36
German Treasury Bill 0% EUR 13/04/2023	50,000,000	49,860,500	3.36
German Treasury Bill 0% EUR 17/05/2023	30,000,000	29,834,550	2.01
German Treasury Bill 0% EUR 19/07/2023	80,000,000	79,135,200	5.32
German Treasury Bill 0% EUR 23/08/2023	100,000,000	98,618,500	6.64
German Treasury Bill 0% EUR 18/10/2023	107,763,158	105,718,352	7.11
German Treasury Bill 0% EUR 22/11/2023	35,000,000	34,224,750	2.30
		669,515,952	45.05
オランダ			
Dutch Treasury Certificate 0% EUR 30/03/2023	70,000,000	69,869,810	4.70
Dutch Treasury Certificate 0% EUR 27/04/2023	20,000,000	19,922,125	1.34
Netherlands Government Bond 144A 1.75% EUR 15/07/2023	30,000,000	29,850,000	2.01
		119,641,935	8.05
債券合計		927,997,375	62.44
証書			
アイルランド			
Invesco Physical Gold ETC	257,000	42,331,469	2.85
証書合計		42,331,469	2.85

インベスコ バランスト・リスク・アロケーション マザーファンド

銘柄	額面/株数	時価 (ユーロ)	純資産に占める 割合 (%)
公的な証券取引所に上場を認められているまたは他の 規制市場で取引されている譲渡性のある有価証券合計		970,328,844	65.29
2010年12月17日の集団投資事業に関する法律 第41条1Hに規定される短期金融商品			
Societe Generale SA (Call account) 0% EUR	201,000,000	201,000,000	13.52
2010年12月17日の集団投資事業に関する法律 第41条1Hに規定される短期金融商品合計		201,000,000	13.52
オープン・エンド型投資信託			
アイルランド			
Invesco Liquidity Funds plc - Invesco Euro Liquidity Portfolio	136,733,857	133,946,538	9.01
オープン・エンド型投資信託合計		133,946,538	9.01
投資有価証券合計		1,305,275,382	87.82

利率は、2023年2月28日現在のものです。

(参考情報)

インベスコ マネープール・ファンド（適格機関投資家私募投信）

○ファンドの仕組み

商品分類	追加型投信／国内／債券
信託期間	無期限
運用方針	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を図ることを目標として運用を行います。
主要運用対象	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資します。
組入制限	・株式への投資は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建て資産への投資は行いません。
分配方針	原則として年1回の毎決算時（11月20日、該当日が休業日の場合は翌営業日）に委託会社が、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

○組入資産の明細

(2023年11月20日現在)

2023年11月20日現在、有価証券等の組入れはございません。

○損益の状況

(2022年11月22日～2023年11月20日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	△ 2,065
支払利息	△ 2,065
(B) 有価証券売買損益	3
売買損	3
(C) 信託報酬等	△ 119
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 2,181
(E) 前期繰越損益金	△14,549
(F) 追加信託差損益金	71
(配当等相当額)	(44)
(売買損益相当額)	(27)
(G) 計(D+E+F)	△16,659
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△16,659
追加信託差損益金	71
(配当等相当額)	(44)
(売買損益相当額)	(27)
分配準備積立金	47
繰越損益金	△16,777

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金の計算過程は以下の通りです。
計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(44円)および分配準備積立金(47円)より分配対象収益は91円(1万円当たり0.39円)となりましたが、基準価額水準、市況動向等を勘案し、当期の分配を見合わせました。